

Kawanishi City Hospital 地域の基幹病院として 役割を果たすための改革

重症患者を救うための
緊急性の高い医療提供を推進



病院長 野崎秀一

民間経営になっても
同様の医療体制を継続

市立川西病院では、31年の4月から医療法人協和会による指定管理者制度を開始します。指定管理者制度とは、公の施設の運営管理を民間事業者で行う制度です。そうすることで、民間のノウハウを活用した、効果的で効率的な運営が期待でき、市民サービスの向上と経費の削減につながります。近隣地域や患者の皆さんの中には、医療体制が変わるのではないかと不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。

民間経営になりますが、市立病院であることには変わりません。来年度以降も、これまで同様の医療提供を継続します。また、今年に入り、充実した医療が評価され、「病院機能評価」の認定を更新することができたので、安心してもらえればと思います。

高齢化の進行を見越し
専門・救急医療を充実

29年に策定した「市立川西病院事業新経営改革プラン」にも記載している通り、地域

の急性期医療を担う役割があると考えています。

急性期とは、病気が発症し、急激に健康が失われた状態のことを指します。高齢になると、生活圏も狭くなりますよね。今後、高齢化がさらに進むことを見越し、専門医療を充実させることで、市内で医療を完結させるシステムを作ることが重要となります。

また、住み慣れたまちで自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを整えることが求められています。そのためには、地域の基幹病院として態勢を整備していかなければなりません。

医師を確保し
市民に安全な医療を提供

市立川西病院には、ベテラン医師が多数在籍していますが、病院を継続させるには、若手医師を増やさなければなりません。専門医療を集約させることは、医師の確保につながります。結果、市民の皆さんに安全な医療を提供することにもなるのです。

今は、専門医療や救急医療をさらに充実させるための助走期間だと考えています。いざというときに頼りになる病院として、皆さんに安心して利用してもらえよう体制を整えていきます。



里芋だんごのお焼き

ほっこりしたサトイモにゴマが香ばしい一品

人権啓発シリーズ

生きる 人権推進課 ☎(740)1150

いじめが起こる「学校という場」の問題

子どもたちの生きる場の再考と「学ぶ」意味の再構築をめざして

子どもたちはどういう思いで学校に通っているのでしょうか。学校の場で何を楽しみにして、その場をどのように過ごしているのでしょうか。おとなたちは「学力向上」とか「学力保障」とか言いますが、その学ぶことの意味を子どもたちは自分たちの中で実感しているのでしょうか。

学んで身に付ける力は、本来、その力を使って今の生活をよりよく生きるためにあるはずですが、ところが、今多くの子どものために、学んで身に付けた学力は、テストで発揮して競い合い、その競争に勝ち残って、より上位の学歴・学校歴を確保するためのものであるかのように錯覚されていて、その錯覚が子どもたちに限らず、保護者にも、また教師たちの間にもまん延しています。

その中で高校年代にもなれば、勝ち組と負け組がおおよそ決まってしまう、それが学校間格差として定着しています。しかも、今は昔と違って、ほとんどが高校には行く時代です。小学校・中学校で勉強に苦労してきた子どもの多くは、学力競争に勝ち残れず、学ぶことの意味を見失い、むしろ学ぶことで傷つき続けてきました。そうして学ぶことの意味を見失った子どもたちが、それでも高校には行き、そこで集団を形成する。それが現実です。

そうだとすれば、学校の側でその子どもたちの現実をしっかり把握して、あらためて学ぶことの意味を取り戻す試みをしていない限り、いじめにつながる貧相な心性が集団の場に広がることを防ぐことはできません。いじめは、実は個人の規範意識の問題というより、むしろ集団の問題です。

(前川西市子どもの人権オンブズパーソン 浜田寿美男)

おとな子どもも 食と育つ

保健センター
☎(758)4721

レシピ 川西・猪名川地域活動栄養士協議会

- 材料 2人分
- サトイモ 中2個
- シラス干し 大さじ4
- いりゴマ(黒) 大さじ1
- 塩 少々
- サラダ油 大さじ1
- 【付け合わせ】シメジバター炒め
- シメジ(小1パック)、バター(大さじ1)、塩・コショウ(少々)
- 熱量(おとな1人分) 217kcal、塩分:1.1g

- 作り方
- ①サトイモは皮付きのまま洗い、皮に1周切り目を入れる。
- ②①を耐熱皿にのせてラップをし、電子レンジで約4分加熱。ひと混ぜし、竹串がすっと通るまでさらに約4分加熱する。
- ③②の皮をむき、ボールに入れて粗くつぶし、塩を加えてつくね形にまとめる。
- ④③の両面にシラス干しといりゴマを混ぜた衣を付けて、油を引いたフライパンで表面がパリッとするまで焼く。
- ⑤シメジはほぐしてバターで炒め、塩・コショウで味付ける。

消費生活センターだより 消費生活センター ☎(740)1167

高額なリフォーム工事を多数契約

3,000円の排水管洗浄をきっかけに
不安をあおって契約を迫る「次々販売」

事例 最近、高齢で一人暮らしの父の預金なくなっていることに気が付いた。父は自宅のリフォーム工事を次々としていた。2年前、事業者から排水管洗浄を3,000円ですと電話で勧められたのがきっかけで、無料点検に担当者が訪ねてくるようになったようだ。

床下のカビの写真を見せられて、「このままにしておく大変だ、家を長持ちさせるために必要だ」と説明され、床下工事をしたらしい。その後、屋根工事や床下換気扇など5件で総額1,000万円以上の工事をしていった。どうすればいいか。(50歳代 男性)

リフォーム工事の相談では、高額で深刻なトラブルになっていることがあります。最初は簡単な作業を安くすると事業者が訪問。その後定期的に点検に訪れ、不安をあおって工事を勧めます。一人暮らしの高齢者の場合、誰にも相談しないまま次々と契約し、問題が表面化するまでに時間がかかってしまうこともあり、周囲の人の見守りや気付きが大切です。

訪問販売で契約した場合、工事が終わっていても、契約書面を受け取ってから8日間以内であればクーリング・オフができます。また期間を過ぎていても、事業者の説明がうそだった場合など、契約の取り消しができる場合があります。諦めずに相談してください。

また、住まいに関する専門相談窓口もあります。契約する前に、住まいのダイヤル ☎0570(016)100 (リフォーム見積書の無料チェックも行っています)、ひょうご住まいサポートセンター ☎078(360)2536 に相談してみてください。

市政情報

求人・募集

発表・鑑賞

公民館

公民館

セミナー

健康

相談の案内

高齢者

子育て

コラム

ニュース

